

## 第4回 貝塚市立義務教育学校開校準備委員会 議事要旨

- 日 時 令和4年10月31日(月)19時～20時20分
  - 場 所 二色小学校 ランチルーム
  - 出席者 宮瀧委員(会長)、成川委員(副会長)、八野委員、三野委員、出合委員、  
下村委員、佐藤委員、浅井委員、貴志委員、檜崎委員、秦委員、  
その他事務局職員
  - 会議概要
    1. 義務教育学校校名案アンケート集計結果について
      - ・ 事務局が、10月4日(火)～21日(金)まで実施した、校名案アンケート集計結果について、説明しました。

453件の有効回答があり、うち二色・五中の児童生徒が289人、校区の住民が140人、教職員が24人でした。

校名案は「にしきがくえん」が、174票で全体の38%、次点の「にしきみらいがくえん」が111票で全体の24%でした。

「にしきがくえん」の表記方法は、漢字の「二色学園」が152票で87%を占め、アンケートの結果、漢字の「二色学園」が最多となりました。
      - ・ アンケート結果をもって、委員会の校名最終案を「二色学園」に決定することとしました。
      - ・ 委員会で決定した「二色学園」の校名案を、教育委員会へ答申として提出するため、答申書の内容について協議し、宮瀧会長から教育委員会へ提出することとしました。
    2. 義務教育学校にかかるアンケート調査について
      - ・ 事務局が、12月に実施予定の学年の呼び方、制服、体操服、給食の4点に関するアンケートについて、事務局の案を提示し、説明しました。

アンケートの対象は、二色小・五中の児童生徒と保護者及び教職員、また未就学児のいる世帯とします。

回答方法は、アンケート用紙を郵送かfaxか持参により提出するか、インターネットで回答することとします。

各項目についてアンケートを集計し、結果を準備委員会の意見として教育委員会へ提出し、教育委員会で最終決定した後、準備委員会 NEWS を通じて校区のみなさまにお知らせすることとします。
      - ・ 委員から様々な意見が出て、意見に対する対応策について協議しました。
- アンケート全体
- ・ その他の自由記述欄を設けているが、多数決が原則のアンケートでどのように取り扱うのか。
  - ・ 小学校低学年が回答する際、理解できない部分も生じると思うが、きちんと説明し、てあげることによって自分たちで学校を作ったという思い出が残ると思う。新しい学

校ができるというめったにない機会なので、その過程を学んでほしい。

- ・ 未就学児自身もアンケートの対象とすべきではないか。

⇒ 未就学児が責任をもってアンケートに答えることは難しいと考え、対象としないこととしました。

#### ○学年の呼び方

- ・ 9年間を見通した教育活動を行うという義務教育学校の趣旨を考え、小中学校の概念を取っ払った1年から9年という呼び方にしたほうがよいのではないか。
- ・ 義務教育学校の生徒は、入試の面接時、中3という呼び方は使わない。対応できる呼び方にしたほうがよい。
- ・ 前期1～6年生、後期1～3年生とした場合、同じ名前の学年が2つ存在することになり、混乱するのでは？

⇒教育活動と深く関わってくるため、アンケートの対象から外すことも検討することとしました。

#### ○制服・体操服

- ・ 制服のデザインを新しくした場合、価格が上がってしまう可能性が高い。メーカーに調査し、価格が上がるなら今の価格と見積額を掲載するなど、注意書きを入れる必要がある。体操服も同様。

⇒価格について調査し、次回会議で報告することになりました。また、デザイン変更による影響をアンケート内で説明することとしました。

#### ○給食

- ・ 小学校で実施している「学校で調理した給食」と、中学校で実施している「デリバリー方式の給食」のイメージがわかりにくいかも。

⇒「学校で調理した給食」「デリバリー方式の給食」の具体的な説明を加えることとしました。

次回会議は11月18日(金)19時からに決定しました。